

第5回定例研究会

「成す術－ライカ型カメラと模倣品と情緒的性能－」

第5回定例研究会は、札幌市立大学デザイン学部教授の石崎友紀先生をお招きして、「成す術－ライカ型カメラと模倣品と情緒的性能－」というテーマで講演いただきました。石崎友紀先生のご経歴は、下記の通りです。

【講師プロフィール】

1950年福島県生まれ。東京藝術大学美術学部卒業。同大学院美術研究科修了。同非常勤講師を経て、財団法人美術工芸振興基金により、1981年エトルリアの金工技術調査。

1986年メトロポリタン博物館東洋美術修復室。

2002年大英博物館金属美術修復室などで海外研修。

現在は札幌市立大学デザイン学部教授、日本クラフトデザイン協会理事、道具学会理事。在学中からNHK教育テレビ「できるかな」で造形活動。特別番組やハイビジョン試作番組などで造形デザインを担当。関連の造形工作著書多数。現在は「つくってあそぼ」「つくってワクワク」を造形指導。造形作家として、帝国ホテル、姫路科学館、熊本市庁舎などの公共建築壁面をデザイン。デザイナーとして、三菱T-2CCV、FS-Xジェット機、新明和US-2飛行艇などの国産航空機を塗粧。サロン・ド・ブランタン賞、東京都教育委員会賞、札幌都市景観賞、朝日現代クラフト展グランプリ、など受賞多数。

講師

石崎 友紀 氏（札幌市立大学デザイン学部教授）

テーマ

成す術－ライカ型カメラと模倣品と情緒的性能－

講演日

2009年1月31日（土） 14:00～17:00 受付開始 13:30～

場所

武庫川女子大学 甲子園会館 K205

申し込み

不要